

# いきがい・助け合いサミット in 神奈川

## 共生社会をつくる地域包括ケア ～生活を支え合う仕組みと実践～



申し込み用  
パンフレット

定員になり次第  
締め切ります

**会場参加とライブ配信により開催します**

「地域共生社会」に向け最前線の課題と対応策を共に考えるチャンス！  
コロナ禍を乗り越えて「地域共生社会」実現に向け、いっしょに前に進みましょう！

**開催日：2021年9月1日[水]～2日[木]**

**会場：パシフィコ横浜** (神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

定員：会場参加 1,500名／オンライン視聴 3,500名

参加費：資料代としてお1人2,000円(会場参加、オンライン視聴共に変わりはありません)  
大交流会は別途3,000円

申し込み期間：2021年5月17日(月)～7月31日(土) (ただし定員になり次第締め切ります)



パシフィコ横浜

**主な対象** 生活支援コーディネーター、協議体構成員、地方自治体、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の地域づくり関係者、国・関係機関・NPO・民間団体の関係者等、助け合い・支え合う地域づくりに関係する方、その他関心を持つ一般住民など

参加のお申し込みは11ページをご確認ください

**ご好評いただいた大阪に続き、さらに充実する内容にご期待ください！**

# いきがい・助け合いサミット in 神奈川

共生社会をつくる地域包括ケア ～生活を支え合う仕組みと実践～

## みんなで、人間性回復の新しい道へ

戦後日本は、経済成長絶対優先の自己責任社会に向かって、一直線に進んできましたが、このところ、その大きな航路が、ついに変わり始めています。社会の厳しさ、冷たさに耐えられなくなった人たちが、力をあわせて、人間らしく自分を生かして助け合うあたたかい共生社会を求めて声を挙げはじめたからです。



2年前に初めて開いた「いきがい・助け合いサミット in 大阪」には、すべての人たちの人間性を回復するため、地域の助け合い活動を振興しようと日々努力している生活支援コーディネーターや協議体のみなさん、行政、社協、包括の担当者、民生委員、自治会役員、NPOなどの志ある方々が3,000人を超えて集まり、会場は熱気に包まれました。そこで生まれた絆は、各地に情報交換のネットワークを生み出し、新地域支援事業を着実に進め、住民の活力といきがいを引き出しています。

今年のサミットでは、大阪で踏み出した住民と共に進む歩みを、さらに大きく前進させます。現に、コロナ禍の中でも、各地で住民たちは歩み出していますから、うかうかしておれないのです。

さあ、思いを込めて横浜に集まり、楽しく力強い輪に加わって、新しい道を進む力をしっかり自分のものにしましょう。みんなの幸せのために。

主催者 公益財団法人さわやか福祉財団

「助け合い大全'19 パネル編・ポスター編」は今後の活動の大切な資料として活用させていただきます。(民生委員)

全国いろいろな市町村と情報交換し、自分の町のことを知ってもらえ、これからも頑張っている!! と思いました。参加してよかったです。(生活支援コーディネーター)

全国的に課題は一緒なのだという事を強く感じ、その解決策は様々な手法を用いて、苦勞しながらも、住民の方々とつくっていくという事の大切さをつくづく感じました。(社会福祉協議会職員)

事前の配布資料が手もとに届いたとき、想像以上の内容だと感じました。しかし、来てみてビックリ、更に内容は想像を超え、本当に勉強になり、遠方からでも来る価値があると思いました。(地域包括支援センター職員)

生活支援体制整備に関して、気づきがたくさんありました。実際に実践していきたいと思えます。(行政職員)

大阪サミット 参加者の声

### 後援(予定)

厚生労働省 神奈川県 横浜市 (社福)全国社会福祉協議会 日本生活協同組合連合会 (一社)全国農業協同組合中央会 (公財)全国老人クラブ連合会 (特非)高齢社会をよくする女性の会 (公社)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)

(社福)神奈川県社会福祉協議会 (社福)横浜市社会福祉協議会 (一社)医療介護福祉政策研究フォーラム (特非)地域共生政策自治体連携機構 (特非)日本NPOセンター 高齢社会NGO連携協議会 日本退職者連合 (一財)長寿社会開発センター 国際長寿センター (認定特非)サービスグラント (特非)全国移動サービスネットワーク (特非)ニッポン・アクティブライフ・クラブ にっぽん子ども・子育て応援団 (認定特非)日本ファンドレイジング協会 (特非)全国コミュニティライフサポートセンター (公財)公益法人協会 (公社)日本フィランソपी協会 小規模多機能自治推進ネットワーク会議 (一社)シニア社会学会 (公財)Uビジョン研究所 (一財)健康・生きがい開発財団 日本障害フォーラム

(公社)日本医師会 (公社)日本看護協会 (公社)日本社会福祉士会 (公社)日本介護福祉士会 (一社)日本介護支援専門員協会 (公社)全国公民館連合会 全国自治会連合会 (公社)日本理学療法士協会 (一社)日本作業療法士協会 (一社)認定介護福祉士認証・認定機構 (一財)高齢者住宅財団 (一社)高齢者住宅協会 (一財)年金住宅福祉協会

(一社)日本経済団体連合会 日本労働組合総連合会

(順不同)

# プログラム

## 9月1日 (水)

- 10:00~12:00 ポスターセッション① ※昼食は随時  
12:35~12:50 オープニングアトラクション  
13:00 開会  
13:05~15:00 全体シンポジウム  
15:45~17:50 第1部パネル 分科会1~13 (13テーマ)  
18:30~20:00 大交流会

※大交流会の開催可否は7月1日(木)に判断します。お申し込みは同日以降になります。11ページもご覧ください。

## 9月2日 (木)

- 9:00~11:00 第2部パネル 分科会14~25 (12テーマ)  
11:00~12:45 ポスターセッション②・昼食  
12:45~14:45 第3部パネル 分科会26~34 (9テーマ)  
15:30~16:30 全体発表会  
16:30 閉会

敬称略。生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）はSCと略しています。  
肩書は原則4月1日時点のものです。ただし、確認できている場合は最新の肩書を掲載しています。  
なお、プログラムの内容や登壇者等は変更となる場合があります。

## 全体シンポジウム

### 「幸せな人生と社会に不可欠ないきがいと助け合い」

“住民主体の助け合いにより共生社会をどのようにつくっていくか” “人生にとってのいきがいはどのようなものか” 豪華パネリストをお迎えして、幅広い視点から、本サミットの主テーマである「いきがいと助け合い」について議論を進めます。

〈パネリスト〉



辻 哲夫

東京大学高齢社会総合研究機構・  
未来ビジョン研究センター客員研究員



神野 直彦

東京大学名誉教授



山極 壽一

総合地球環境学研究所所長



村木 厚子

津田塾大学  
総合政策学部客員教授

〈進行役〉



堀田 力

(公財) さわか福祉財団会長

## 分科会

本サミットならではの各分野を代表する素晴らしいパネリストの皆様による「34の分科会」を用意しました。充実した分科会テーマ、パネリストにご期待ください。

大阪サミットでの提言をさらに進めようという分科会、新しいテーマの分科会など、今まさに課題となっているテーマを取り上げます。全国の最新事例を知り、幅の広い考え方や経験に基づく事例などに出合える貴重な機会です。また、コロナ禍対応事例も種々紹介されます。

分科会の具体的なテーマ、進行役・登壇者等は、4ページから9ページをご覧ください。

大阪サミットから継続しているテーマの分科会は、関連する大阪サミットの分科会番号を（例：大阪分科会1）、新たなテーマの分科会は **新規** と表示していますので、ご参考にしてください。

### 分科会のお申し込みについて

会場参加の場合、分科会は、会場の都合上、事前お申し込みの方が優先となります。第1希望から最大第3希望まで選ぶことが可能です。お席に余裕がある分科会には、当日自由に参加することができます。オンライン視聴の場合も事前にお申し込みになった分科会をご覧ください。詳しくは11ページの「お申し込みについて」をご確認ください。

分科会  
**1**

**新規** いきがい・助け合いは  
人生にどんな効果を生むか

■ 進行役  
**堀田 力** (公財) さわやか福祉財団会長

■ 登壇者  
**飯島 勝矢** 東京大学高齢社会総合研究機構機構長・  
未来ビジョン研究センター教授

**河田 珪子** 地域の茶の間創設者  
**近藤 克則** 千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授  
**藤原 佳典** (地独) 東京都健康長寿医療センター研究所  
社会参加と地域保健研究チーム研究部長

いきがい・助け合いの活動は、心身の健康保持(介護予防)にいい効果をもたらすことを、**データや実例から実証する**

分科会  
**3**

**新規** 助け合いは  
コロナ禍から何を学んだか

■ 進行役  
**池田 昌弘**  
(特非) 全国コミュニティライフサポートセンター代表者

■ アドバイザー  
**篠原 智行**  
高崎健康福祉大学  
保健医療学部准教授

■ 登壇者  
**松岡 武司** 倉敷市第1層SC  
**森 安美** ゆめ伴プロジェクト総合プロデューサー  
**渡邊 公子** (一社) ふらっとカフェ鎌倉代表理事

コロナ禍の中で地域の助け合い活動をどんな形で継続し、広げていくかを、**具体的事例を通じて学ぶ**

分科会  
**5**

2層協議体の構成と役割

■ 進行役  
**長瀬 純治**  
(公財) さわやか福祉財団

■ アドバイザー  
**高橋 由和**  
(特非) きらりよしじまネットワーク事務局長

■ 登壇者  
**山田 一志** 川島町第1層SC  
**内田 岳史** 板橋区おとしより保健福祉センター  
**太田 美津子** 板橋区第1層SC  
**河村 政徳** 犬山市第1層SC

2層協議体がいかに住民のニーズに応える助け合い活動を創り出していかかという最大の課題について、多様な事例に基づき**考え方や具体的手法**を見える化していく  
(大阪 分科会4)

分科会  
**2**

我が事・丸ごとや小規模多機能自治  
などの地域づくり活動と  
生活支援活動とをどう結び付けるか



■ 進行役  
**堀田 聡子**  
慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授

■ 登壇者  
**板持 周治** 雲南市政策企画部次長兼地域振興課長  
**藤本 勇樹** 名張市地域経営室地域マネージャー  
**上田 正之** 庄原市第1層SC  
**唐木 啓介** 厚生労働省社会・援護局生活困窮者自立支援室/  
地域共生社会推進室併任室長

高齢者や子ども、障がい者などのタテワリにとらわれない、困っている人たちすべてを支援する**共生の仕組みや、農業等を含めたプラットフォーム**をどうつくるのか  
(大阪 分科会27)

分科会  
**4**

市区町村における庁内体制は  
どうあるべきか



■ 進行役  
**村田 幸子**  
福祉ジャーナリスト



■ アドバイザー  
**大森 彌**  
東京大学名誉教授

■ 登壇者  
**吉田 一平** 長久手市長  
**奈良田 一樹** 大館市長寿課  
**水室 貴文** 大崎市社会福祉課  
**原 舞** 中間市第1層SC

大阪サミットでは庁内連携のあり方の総論を議論したが、今回①住民の生活支援ニーズの庁内共有の手法、②**関連事業の連携の手法**などを具体的に検討する  
(大阪 分科会2)

分科会  
**6**

助け合いのネットワークをつくるに  
あたり、既存の助け合い活動を  
生かすにはどうすればよいか



■ 進行役  
**岩名 礼介**  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)共生・社会政策部長、主席研究員



■ アドバイザー  
**岡河 義孝**  
(独) 福祉医療機構  
総務部長

■ 登壇者  
**石合 亮** 羽生市高齢介護課  
**渡辺 隆志** (社福) 羽生市社会福祉協議会事務局次長  
**山岡 伸次** 長浜市第1層SC  
**高木 佳奈枝** 竹田市第1層SC

自治会、地区社協など既存の助け合い活動団体が、SCが進めようとする地域活動のネットワークに加わるのを**拒む時、SCはどう対応すればよいか**  
(大阪 分科会6)

分科会  
7

地縁の助け合い活動を  
活性化するには？

- 進行役  
**岡野 貴代** (公財) さわやか福祉財団
- 登壇者  
**酒井 保** 近所福祉クリエイション主宰 近所福祉クリエイター  
**神崎 義明** 前高崎市金古町王塚町内会長  
**目崎 智恵子** (公財) さわやか福祉財団、高崎市第1層SC  
**中崎 朱美** 入間市第1層SC  
**山下 恵久子** 入間市豊岡第二地区元気にする会代表  
**植垣 章子** 波佐見町第1層SC  
**野下 和幸** 井石支え愛たい代表  
**壺崎 健** 鹿屋市高齢福祉課  
**穂園 裕治** 鹿屋市第2層SC

「日頃のつながりが大切」との大阪サミットの提言を深め、**地縁の関係をベースとする有償ボランティア活動の広め方**を中心に具体的に検討する (大阪 分科会7)

分科会  
9

有償(謝礼付き)ボランティア活動を  
どう広げるか

- 進行役  
 **中村 順子**  
(認定特非) コミュニティ・サポートセンター神戸理事長
- アドバイザー  
 **笹子 宗一郎**  
厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課長
- 登壇者  
**渡邊 隆幸** 前新潟市中央区第1層SC  
**島村 孝一** (特非) きらりびとみやしろ理事長  
**永田 米昭** おたがいさまネットみなみ会長  
**北畑 英子** 越前市第2層SC  
**上辻 孝太** 宮津市第2層SC  
**藤本 八重子** 諫早市飯盛町地域共生助け合い隊代表

大阪サミットで生活支援には有償ボランティアが有効と確認され、厚労省もその支援に乗り出した。有償ボランティアを広げるための課題に具体的に取り組み、**道を大きく広げたい** (大阪 分科会9)

分科会  
11

助け合い活動に対する  
行政の後方支援のあり方

- 進行役  
 **服部 真治**  
医療経済研究機構 主席研究員
- アドバイザー  
 **原 勝則**  
元厚生労働審議官・老健局長
- 登壇者  
**辻野 文彦** 八王子市高齢者いきいき課 (第1層SC)  
**中村 肇** 川崎市地域包括ケア推進室  
**貝長 誉之** (社福) 太子町社会福祉協議会地域包括推進室長  
**久保 典子** 高松市第2層SC  
**筒井 一步** 嬉野市第2層SC

助け合いに対する補助をどのようにすれば、**より有効な支援**になるのかという難問に取り組む (大阪 分科会11)

分科会  
8

共生型常設型居場所をどう広げるか

- 進行役  
**鶴山 芳子** (公財) さわやか福祉財団理事
- 登壇者  
**荒木 純子** (特非) ゆっくりサロン理事長  
**秋元 康雄** (特非) 居場所コム代表理事  
**松下 武人** 前藤枝市第1層SC  
**稲葉 ゆり子** たすけあい遠州代表  
**永濱 旭** 枚方市第2層SC
- 大阪サミットで「共生型常設型居場所が助け合い活動に発展しやすい」と確認したが、では具体的に**通いの場やサロンをどういつでもだれでも型**にしていくのか (大阪 分科会8、46)

分科会  
10

自動車による移動支援をどう広げるか  
(企画・協力：(特非) 全国移動サービスネットワーク)

- 進行役  
 **河崎 民子**  
(特非) 全国移動サービスネットワーク副理事長
- 登壇者  
**清水 弘子** (特非) かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長  
**木下 綾子** 秦野市福祉部高齢介護課  
**渡邊 敏宏** 静岡県健康増進課  
**中野 克彦** 島田市第1層SC  
**佐々木 忠信** 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課課長補佐
- 大阪サミットで「ジャンジャンつろう」と呼びかけた助け合いの移動支援活動を、地域の実情に応じて広げていくための**モデル事例と実践者の心構え**を共有する (大阪 分科会10)

分科会  
12

医療・介護サービスと  
生活支援の助け合い活動との  
ネットワークをどうつくるか

- 進行役  
 **中村 秀一**  
(一社) 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
- 登壇者  
**秋山 正子** 暮らしの保健室長、(認定特非) マギーズ東京センター長  
**池本 祐子** 川根本町地域包括支援センター長  
**大原 裕介** (社福) ゆうゆう理事長  
**佐藤 寿一** (社福) 宝塚市社会福祉協議会常務理事  
**田中 志子** (医) 大誠会内田病院理事長
- 大阪サミットで確認されたネットワークの重要性を踏まえ、事業者と助け合い団体の**ネット形成の手法及びネットの機能**を、多様な実例から探っていきたい (大阪 分科会14)

第1部パネル

分科会  
**13**

ケアプランに生活支援の助け合い活動  
及び本人のいきがい活動を  
どう取り入れるか



■ 進行役  
**江田 佳子**  
佐々町住民福祉課課長補佐

■ 登壇者

**熊谷 美和子** (特非) たすけあい平田理事長

**瀬戸 健太** 寝屋川市高齢介護室

**水上 直彦** (一社) 日本介護支援専門員協会  
介護保険制度・報酬委員会委員長

**安本 勝博** 津山市健康増進課

**川部 勝一** 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課課長補佐

大阪サミットで「地域の暮らしに視点を置いて」と提言した  
ケアプランをさらに深め、本人らしい生き方をするための  
「**人生のケアプラン**」にするにはどんな方策があるか  
(大阪 分科会15)

第2部パネル

分科会  
**14**

**新規** 個人の住宅を地域に開くには、  
どうすればよいか



■ 進行役  
**高橋 紘士**  
東京通信大学教授、  
(一社) 高齢者住宅協  
会顧問、(一社) 全国ホ  
ームホスピス協会理事



■ アドバイザー  
**西村 周三**  
医療経済研究機構特別  
相談役、京都先端科学  
大学経済経営学部教授

■ 登壇者

**三浦 研** 京都大学大学院工学研究科教授

**宇津崎 光代** (一社) 日本住育協会理事長、  
(株) ミセスリビング代表取締役

**夏目 幸子** (特非) 住まい・まち研究会理事長

「住まい」にはもともと地域とつながるための縁側や応接間  
があったが、最近の住宅は地域から閉じてしまった。ところ  
が、再び**住まいを地域に開放する試み**が現れてきており、そ  
の可能性を探りたい

分科会  
**16**

介護におけるエンパワーメントと  
自立支援のあり方は何か



■ 進行役  
**中村 秀一**  
(一社) 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長

■ 登壇者

**秋山 由美子** 元世田谷区副区長、(特非) 日本地域福祉研究所理事

**井上 由起子** 日本社会事業大学専門職大学院教授

**大河内 二郎** 介護老人保健施設竜間之郷施設長

**近藤 克則** 千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門教授

**二神 雅一** (株) 創心會代表取締役

大阪サミットでエンパワーメントと自立支援の基本的なあり  
方が整理されたので、今回は**施設と在宅におけるあり方**や住  
まいとまちづくりの視点からのあり方を論じる  
(大阪 分科会28)

分科会  
**15**

**新規** 自分らしく暮らせる施設の選び方



■ 進行役  
**新津 ふみ子**  
(特非) メイアイヘルプユ一理事長

■ 登壇者

**対馬 徳昭** つしま医療福祉グループ代表

**本間 郁子** (公財) Uビジョン研究所理事長

**藤田 卓也** (社福) 愛生福祉会常務理事

**尊厳をもって自分らしく暮らすことのできる施設のあり方**を  
実例にのっとして、ソフト面及びハード面から探っていく

分科会  
**17**

子どもと高齢者の交流や助け合いを  
どう広げるか

(企画・協力：にっぽん子ども・子育て応援団)



■ 進行役  
**奥山 千鶴子**  
(特非) 子育てひろば全国連絡協議会理事長

■ 登壇者

**河原 廣子** (特非) かもママ理事長

**近藤 博子** 「気まぐれ八百屋だんだん」店主・こども食堂主宰

**中村 俊一** (一社) プレーワーカーズ理事

大阪サミットでは定年男性の活躍ぶりが感銘を呼んだが、今  
回はいま勢いよく広がっている**こども食堂や共生型居場所**に  
**おける交流ぶり**を紹介して、あり方を考える

(大阪 分科会18)

分科会  
18

認知症の人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか



■ 進行役  
**新田 國夫**  
(一社) 全国在宅療養支援医協会会長、  
(一社) 日本在宅ケアアライアンス理事長

■ 登壇者  
**杉山 孝博** 川崎幸クリニック院長、  
認知症の人と家族の会副代表・神奈川県支部代表  
**菅原 弘子** (特非) 地域共生政策自治体連携機構事務局長  
**加藤 由紀子** (特非) ふれあい天童理事長  
**角脇 知佳** ゆめ伴プロジェクト実行委員長  
**菱谷 文彦** 厚生労働省老健局認知症総合戦略企画官

大阪サミットでは地域における伴走支援が必要と提言されたが、ではその伴走支援は地域の**どんな人が、どんな考え方で、どのようにするか**を、実例をもとに話めたい  
(大阪 分科会21)

分科会  
20

地域は、地域で孤立しがちな人とどうつながるか



■ 進行役  
**高橋 良太**  
(社福) 全国社会福祉協議会地域福祉部長

■ 登壇者  
**伊是名 夏子** コラムニスト  
**奥田 知志** (認定特非) 抱樸理事長  
**勝部 麗子** (社福) 豊中市社会福祉協議会福祉推進室長  
**玄 秀盛** (公社) 日本駆け込み寺代表

共生社会を実現するうえで、**障がい者、生活困窮者、刑余者**など地域で孤立しがちな人を、地域はどのように支援するのかについて、支援の拠点をつくるなど具体的方策を考える  
(大阪 分科会20、22、23)

分科会  
22

新規 勤労者の助け合い活動参加をどうながすか



■ 進行役  
**藤原 佳典**  
(地独) 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム研究部長



■ アドバイザー  
**本多 則恵**  
厚生労働省  
国際労働交渉官

■ 登壇者  
**嵯峨 生馬** (認定特非) サービス грант代表理事  
**高橋 陽子** (公社) 日本フィランソロピー協会理事長  
**中島 幹夫** トヨタ自動車(株) MS ボデー設計部  
アッパー機能制御室設計室グループ長  
**堀 久美子** UBSグループ エグゼクティブディレクター  
CSR・社会貢献 アジア・太平洋地域統括

横浜市健康福祉局職員

働く人々は地域における助け合いによる生活支援活動の重要性を知る必要があるが、**地域と企業**は、そのためにそれぞれ何をすればよいか

分科会  
19

市民後見人による後見活動と生活支援活動はどう連携するのが望ましいか



■ 進行役  
**大森 彌**  
東京大学名誉教授

■ 登壇者  
**梶野 友樹** 厚生労働省社会・援護局保護課長  
**赤沼 康弘** 赤沼法律事務所 弁護士  
**池内 良司** 大阪市成年後見支援センター所長  
**北村 肇** (特非) 地域共生政策自治体連携機構事務局次長兼研究主幹  
**小池 信行** 山田二郎法律事務所 弁護士

大阪サミットでは市民後見人の積極的養成が提言されたので、今回はその養成を担う**中核機関の設置**を訴えると共に、養成の前提となる**市民後見人の長所**を分析する  
(大阪 分科会24)

分科会  
21

企業OBに助け合いによる生活支援活動への参加をうながすにはどうすればよいか



■ 進行役  
**中村 順子**  
(認定特非) コミュニティ・サポートセンター神戸理事長



■ アドバイザー  
**奥山 俊一**  
(認定特非) プラチナ・ギルドの会理事長

■ 登壇者  
**井上 佳奈** 大阪市平野区第1層SC  
**平田 裕章** (社福) 京都市下京区社会福祉協議会  
地域支え合い活動創出コーディネーター  
**牧野 一雄** The 男組メンバー  
**和多 幸司朗** (公社) 門真市シルバー人材センター  
常務理事兼事務局長

大阪サミットでは企業と地域の双方への働きかけの必要性が指摘されたが、**企業OBが生活支援活動にまで参加**するには**どんな働きかけが必要か**を探る  
(大阪 分科会25)

分科会  
23

新規 介護離職を防ぐ地域の連携 (企画・協力：(特非) 高齢社会をよくする女性の会)



■ 進行役  
**樋口 恵子**  
(特非) 高齢社会をよくする女性の会理事長



■ アドバイザー  
**結城 康博**  
淑徳大学  
総合福祉学部教授

■ 登壇者  
**塩入 徹弥** 大成建設(株) 管理本部人事部部长  
**壺内 令子** (株) ウェルネス香川代表取締役・主任ケアマネジャー  
**石毛 鏡子** (特非) 高齢社会をよくする女性の会理事

介護離職は日本全体に悪影響を与えます。介護離職に関する最近の実態調査も踏まえ、これを防ぐため**特に地域はどうすればいいか**、地域と企業の新たな連携についての対策を提示する

第2部パネル

分科会 24 海外では地域の助け合い活動で どれだけ高齢者の生活を支えているか (企画・協力：(一財) 長寿社会開発センター 国際長寿センター)



進行役 大上 真一 (一財) 長寿社会開発センター 国際長寿センター参与

登壇者 松岡 洋子 東京家政大学人文学部准教授 服部 真治 医療経済研究機構主席研究員 中島 民恵子 日本福祉大学福祉経営学部准教授 海外の実践者 (予定)

大阪サミットでは海外における生活支援ボランティアの活躍ぶりを伝えたが、今回は高齢者の地域づくりとそのためのコーディネーターなどの仕組みを紹介する (大阪 分科会51)

分科会 25 新規 広域連合で新総合事業・体制整備事業を行うのは適切か (I)



進行役 岩名 礼介 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生・社会政策部長、主席研究員

新総合事業を適正に実施できるのは広域連合か構成市町村か? ベストな権限配分のあり方を求めて全国の関係者で徹底的に討議する

※関係者による議論となりますので分科会への参加募集は行いません

第3部パネル

分科会 26 新規 広域連合で新総合事業・体制整備事業を行うのは適切か (II)



進行役 岩名 礼介 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生・社会政策部長、主席研究員

分科会25から、徹底討議が続く

※関係者による議論となりますので分科会への参加募集は行いません

分科会 27 新規 心身機能が低下しても、持てる能力を生かして高齢者が社会参加する方法とは (企画・協力：(一社) シニア社会学会)



進行役 澤岡 詩野 (公財) ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員



アドバイザー 袖井 孝子 (一社) シニア社会学会会長、お茶の水女子大学名誉教授

登壇者 中林 美奈子 富山大学歩行圏コミュニティ研究会代表 前田 隆行 DAYS BLG! 代表 椎根 深 ウェルケアヒルズ馬事公苑介護主任

どのような状態になっても人には役割と出番が必要。助けが必要な人が人を助けている事例を分析、いきがいのつくり方を探り出す

分科会 28 都道府県は助け合いによる生活支援活動を広めるために何をすべきか

進行役 清水 肇子 (公財) さわやか福祉財団理事長

登壇者 茨城県健康・地域ケア推進課担当者 埼玉県地域包括ケア課担当者 神奈川県高齢福祉課担当者 長崎県長寿社会課担当者 貝長 誉之 (社福) 太子町社会福祉協議会地域包括推進室長 石山 裕子 大川市健康課

遅れてとまどっている市町村を救うのは都道府県。大阪サミットで提言された「市町村の実情把握」と「伴走支援」を具体的にどう実行するかを多角的に検討する (大阪 分科会31)

分科会 29 住民から信頼される体制をどうつくるか



進行役 菱沼 幹男 日本社会事業大学社会福祉学部准教授

登壇者 松尾 好明 つくばみらい市第1層SC 砂塚 一美 柏崎市第1層SC 星野 琢万 蒲郡市長寿課 田丸 友三郎 奄美市第1層SC

大阪サミットでは住民の思いを共有する体制づくりの多様な形が紹介されたが、今回は信頼される体制をどう継続するかに焦点を当て、実例から対応策を学んでいく (大阪 分科会3)

分科会  
30住民のやらされ感を払しょくする  
コツと手法は何か

■ 進行役

目崎 智恵子 (公財) さわやか福祉財団、高崎市第1層SC

■ 登壇者

佐藤 良子 立川市大山団地自治会元会長 現相談役

野口 恵子 長瀬町第1層SC

高田 幸好 長瀬町第1層協議体委員長

島岡 繁希 大阪市東成区第1層SC

升井 豊 きづくちゃん「たすけ愛」活動の会活動会員

大阪サミットでは働きかける側から住民のやる気を引き出す方向を考えたが、今回は**目覚めた住民の側から**、どんなことで目覚めたかを語っていただく

(大阪 分科会45)

分科会  
31

## 目指す地域像の意義と取り組み方

■ 進行役

高橋 望 (公財) さわやか福祉財団

■ 登壇者

岡村 美花 武蔵村山市南部地域包括支援センター長

斉藤 節子 南アルプス市第1層SC

小林 陽一 南アルプス市第2層SC

平野 歌織 長野市第2層SC

中川 史高 うきは市第1層SC

大阪サミットでは「生の声を拾おう」と提言されたが、ではどう生の声を拾うのか、またそれを**どう見える化するのか**。実践例から、目指す地域像の設定と活用法を学ぶ

(大阪 分科会5)

分科会  
32大都市部における  
新しい地域支援事業の進め方

■ 進行役

長瀬 純治  
(公財) さわやか福祉財団

■ アドバイザー

和田 敏明  
ルーテル学院大学  
名誉教授

■ 登壇者

足立 勇也 宇都宮市高齢福祉課

小島 淳史 さいたま市

調整中

地縁が薄れ、助け合いが遠い大都市部。大阪サミットでは「やれるところから」と提言されたが、今回は原点に立ち、**現状と課題の全体を把握**する方法と工夫を考える

(大阪 分科会43)

分科会  
33人口が少ない自治体における  
助け合いによる生活支援に関する  
課題と対応策は何か

■ 進行役

石井 義恭  
臼杵市高齢者支援課

■ 登壇者

白石 祐治 江府町長

生田 志保 江府町福祉保健課

津澤 安彦 浦河町第1層SC

平田 達哉 (社福) 関川村社会福祉協議会

関崎 豊 麻績村住民課

大阪サミットでは小規模である利点を生かす柔軟な取り組み例が紹介されたが、今回は住民サイドに焦点を当て、**限られた人材や資源をどう生かすか**、その手法を探る

(大阪 分科会32)

分科会  
34在宅での人生の最終章の過ごし方及び看取りのあり方  
～医療関係者の関わり方、親族のあるべき態度、助け合い活動者の関わり方など～

■ 進行役

花戸 貴司  
東近江市永源寺診療所所長

■ 登壇者

秋山 正子 暮らしの保健室長、(認定特非) マギーズ東京センター長

市原 美穂 (一社) 全国ホームホスピス協会理事長

佐々木 淳 (医) 悠翔会理事長・診療部長

大阪サミットでは比較的非都市部の実例を基に議論したが、今回は、**都市部の実例を基に**在宅でその人らしく最後の時期を過ごし、旅立つ方策を探りたい

(大阪 分科会54)

# ポスターセッションのご案内

大阪サミットで大変好評をいただいたポスターセッションを、2回にわたって開催します。また、神奈川サミットでは、会場展示に加えてWEB上での展示も行います。

全国での取り組みを知ると共に、会場においてはポスター出展者とのコミュニケーションを深めることができる機会です。

ポスターの  
ご応募も  
お待ちしております！

## ◎地域の特性を活かした多様な事例

生活支援コーディネーターや協議体、自治体、社会福祉協議会、地域包括支援センター等関係者が、住民の方々と助け合いの地域づくりを進めていく中で、「全国で紹介したい」「おすすめしたい・自慢したい」といった活動をポスターにまとめて発表していただきます。

テーマ（カテゴリー）は、

- (A) コロナ禍の中における助け合い活動に関する事例
- (B) 体制整備に関する事例
- (C) 住民のニーズ把握及び担い手の掘り起こしに関する事例
- (D) 有償ボランティア団体の創設支援やいつでも誰でも型居場所の創設といった助け合い活動の創出に関する事例
- (E) 都道府県の支援事例
- (F) 地域共生の活動事例
- (その他)

など、広くいきがい・助け合い活動に関する内容です。

## ◎参加者全員で「いいね！」投票を実施

WEBによる展示や当日展示されるポスターをご覧いただき、「これは！」と思った活動や共感した取り組みなどのポスターに投票していただけます。集計結果は、2日目最後の全体発表会でご紹介します。こちらもお楽しみにしてください。

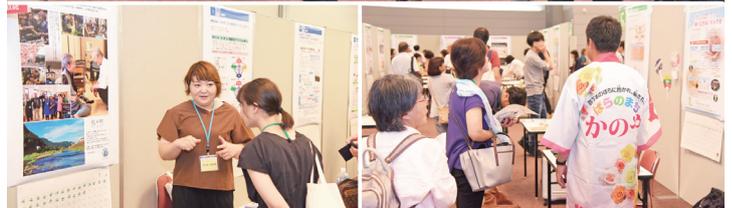


## ◎ポスターで取り組みをご紹介しませんか？

ぜひ、皆様の地域のご活動を全国にアピールしてください。展示ポスターは、ご希望があれば、サミット終了後に出展者にお渡ししますので、サミット終了後もいろいろな場面でご利用いただけます。

**応募期間 4月26日(月)～5月31日(月)**

応募ポスターは、会場の都合上、展示数を調整させていただきます場合があります。ただし、応募ポスター全作品は当財団WEB上に展示いたします。詳しくは、当財団ホームページ内にある神奈川サミット「ポスターセッション募集・作成要項」をご覧ください。



全都道府県から134事例のポスターが出展された大阪サミット・ポスターセッションの様子。自分たちの取り組みにとっても参考になると大好評でした。

## サミット参加者に充実した資料をお渡しします

「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」にお申し込みいただいた全員にお渡しする3種類の冊子です。課題に取り組むヒントが満載です。サミット参加後の地域づくりの取り組みに大いにお役立てください。

※「助け合い大全'21」の『パネル編』は事前に、『ポスター編』と『提言編』はサミット後にご送付いたします。

## 助け合い大全'21



全体シンポジウム、全分科会登壇者の発言要旨等を収録



会場に展示したポスター等を収録



全分科会の提言と議事要旨を含め、サミット全体の総括、全体シンポジウムの要約等を収録

# お申し込みについて

- 「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」は、会場参加とオンラインによるライブ配信を併用して開催します。
- 会場は新型コロナウイルス感染防止のため、消毒、換気、飛沫防止、ソーシャルディスタンスの確保などの対策を講じます。
- 新型コロナウイルスの感染状況により、すべてのプログラムをオンラインによるライブ配信とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。開催形式は8月1日（日）に最終決定する予定です。

**対象：**どなたでもご参加できます。

当日の参加受付はいたしませんので、事前のお申し込みをお願いいたします。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

**定員：**会場参加 1,500名 オンライン視聴 3,500名  
大交流会 300名 ※大交流会の開催可否は、  
7月1日（木）に判断いたします。

**参加費：**資料代として2,000円（会場参加、オンライン視聴共に参加費を兼ねたお1人ずつの金額です）  
大交流会は、別途参加費として3,000円

**参加：WEBによるお申し込みが優先となります。**申し込み専用WEBサイトからお申し込みください。さわやか福祉財団のホームページからお入りいただけます（最終ページにURLとQRコードを掲載しています）。

**FAX** 同封の専用お申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、募集受付窓口（株）JTB横浜支店までお送りください（12～15ページをご覧ください）。

※全面オンライン視聴による開催となる可能性がありますので、FAXによるお申し込みの場合でも必ず全参加申し込み者のメールアドレスをご記入ください。

※FAXによるお申し込みの場合、募集受付窓口によるシステムへの登録をもって受付完了となります。集中した場合は登録完了までにお日にちを要する場合がありますことをご了承ください。

※ホテル等も含めた詳細は、12ページからの「お申し込みのご案内」を併せてご参照ください。

**昼食：**9月1日（水）、2日（木）のいずれもお申し込みできます。昼食（ドリンク付）をご希望される方は、お申し込みの際に、お弁当またはサンドイッチのいずれかをご選択ください。金額はいずれも1,000円です。

注意

会場付近にも食事の施設はございますが、移動に時間がかかることが予想されますので、昼食は事前お申し込みをいただくか、ご持参をお勧めいたします。

## ● 分科会のお申し込みについて

①会場参加の場合、分科会は、基本的に出入り自由ですが、事前に分科会のご希望をいただいた方を優先いたします。そこで、第1部、第2部、第3部パネルの希望する各分科会につき、それぞれ第3希望までお選びいただき、お早めにお申し込みください。分科会のお申し込み状況等は当財団ホームページ等でお知らせします。

なお、分科会ごとに、予定数になるまで第1希望の方をお申し込み順に登録していきます。第1希望の分科会が定員になった場合には第2希望の分科会へ、第2希望の分科会も定員になった場合は第3希望へのご登録となります。第3希望までいずれもご希望に沿えない場合には「参加受付担当」からご連絡いたします。ご参加いただく分科会は参加証に表示します。

②オンライン視聴の場合、①と同様の手順により決定した分科会をご視聴できます。オンライン視聴を申し込まれた方には、オープニングアトラクション～全体シンポジウム、全体発表会、視聴が決定した分科会ごとのURLを登録メール宛てにお送りします。

## ● 大交流会のお申し込みについて（7月1日以降）

新型コロナウイルス感染防止策を講じますので、一般申し込み受付は300名を定員とします。開催の可否は、7月1日（木）に判断し、当財団ホームページでの告知の他、参加登録済みの方にはメール等により改めてご連絡いたします。なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

## ● 宿泊のお申し込みについて

ご希望の方は、12ページからの「お申し込みのご案内」をご覧ください、申し込み専用WEBサイト経由か、または専用お申し込み用紙にご記入のうえお申し込みください。

## 申し込み締め切り：2021年7月31日（土）（予定）

ただし、定員になり次第締め切りとさせていただきます。参加受付が完了した方には、事前資料、参加証（会場参加のみ）等をお送りいたします。当日は参加証を忘れずにご持参ください。

※開催の形式は8月1日（日）に最終決定しご連絡いたします。

全面オンラインによるライブ配信とする際には、会場参加を申し込まれた方もオンラインによる視聴となりますので、ご了承ください。

※当日は、ご希望により無料託児所を設けます。また、車椅子、手話通訳等の配慮が必要な方も事前にお申し出いただけますようお願いいたします。

## ● 取り消しについて

**参加申し込み：**事前資料の発送の都合上、取り消し期限は8月7日（土）とさせていただきます。それ以降の取り消しに伴う資料代の払い戻しはできかねますのでご了承ください。その場合は、資料のご送付で対応させていただきます。

**大交流会 昼食：**主催者判断による大交流会の中止及び全面オンライン視聴による開催に変更する場合以外の取り消し期限は、8月7日（土）とさせていただきます。それ以降の取り消しの場合、代金のご返金はいたしかねますのでご了承ください。

**宿泊：**各宿泊先との契約によります。

\*すべて税込みの金額になります。

# いきがい・助け合いサミット in 神奈川 【お申し込みのご案内】

2021年9月1日(水)から2日(木)の2日間、パシフィック横浜にて「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」が開催されます。ご参加者様方のサミット参加、大交流会、昼食、分科会、宿泊プラン等の受付を(株)JTB 横浜支店で担当させていただきます。当ご案内をご一読いただきお申し込みください。本サミットは、会場参加・ライブ配信のハイブリット開催となります。そのため、お申し込みいただく内容や申し込み方法も従来から変更となっている点がございますのでご注意ください。なお、8月1日(日)の最終決定により全面オンライン化になる可能性がございます。

## 1. お申し込み方法のご案内 (WEB申し込みまたはFAX申し込みの2パターン)

「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」への参加、大交流会、昼食、分科会、宿泊プランにつきましては事前申し込みが必要となります。今回は、オンライン視聴での参加(ライブ配信)も可能となり、こちらも事前申し込みが必要です。下記内容をご確認の上、サミット参加登録システム(WEB申し込み)よりお申し込みください。また、FAX申し込みも可能になっておりますが、お客様の利便性の観点からWEB申し込みを推奨しております。FAXでのお申し込みは受付デスクがシステムに入力を行った時点で申し込みが完了となります。会場参加の方々の参加証等につきましては入金を確認後、8月中旬に郵送いたします。参加証は当日忘れずにご持参ください。

※車椅子、手話通訳、託児所などの配慮が必要な方はお申し出いただきますようお願いいたします。

### WEB申し込み

- 1) 5月17日(月)以降、下記の申し込み専用WEBサイトよりお手続きをお願いいたします。
- 2) WEBサイト内の【はじめてご利用される方】より、IDとパスワードを各自設定していただき、参加者情報とご希望の参加内容をご登録ください。
- 3) 大交流会の開催可否は7月1日(木)に判断されます。開催する場合は同日以降より申し込み受付を開始いたします。

〈申し込み専用WEBサイト〉 <https://amarys-jtb.jp/summit2021/>



■申し込み受付開始：2021年5月17日(月)

■申し込み受付締切：2021年7月31日(土)

※定員になり次第締め切りとさせていただきますのでご了承ください。

■お支払い期間：2021年7月1日(木)～2021年8月8日(日・祝)

※大交流会の開催可否によって申し込み金額が異なるため、お支払い手続きは開催の確定日(7月1日(木))以降をお願いいたします。

### FAX申し込み

WEB環境がない方はこちらをご利用ください。専用お申し込み用紙に必要事項をご記入の上、「(株)JTB 横浜支店 いきがい・助け合いサミット in 神奈川受付デスク」までお送りください。FAX申し込みの場合、受付デスクでの受信から登録処理までの時差が生じます。席数が限定されている分科会は、登録処理時の空席状況によりご希望通りに受付ができない場合がございますので、リアルタイムで登録が可能なWEB申し込みを極力ご利用いただく事を推奨いたします。今回は、FAXでのお申し込みでも、オンライン視聴での参加有無を問わず全てのご参加者のメールアドレスの記入が必須となります。

FAX送信の際には個人情報保護の観点から、番号をご確認の上、お間違いのないよう送信をお願いいたします。送信後はお手数ですが、着信のご確認をお願いいたします。

■FAX申し込みの場合、分科会については第3希望まで、宿泊プランについては第2希望まで必ずご記入ください。分科会・宿泊共に、空き状況によりご希望外の内容をご案内させていただくこともございますので、あらかじめご了承ください。

## 2. お支払い方法

コロナウイルス感染状況を踏まえながら開催方法について検討していく関係で、大交流会の開催の確定日(7月1日(木))以降にお支払い手続きをお願いいたします。

### WEB申し込みの場合

マイメニューよりお支払い方法を選択の上、手続きをお済ませください。  
お支払い方法 ⇒ 銀行振込(みずほ銀行)/クレジットカード決済/コンビニ払い のいずれか

お支払い期日 ⇒ 8月8日(日・祝)

※コンビニ払いの場合はお支払い手続き後、10日以内となります。

※請求書が必要な場合は、お客様ご自身にてWEBサイト「マイメニュー」⇒「請求書発行」よりダウンロードをお願いいたします。

### FAX申し込みの場合

お申し込み受付後、請求書を郵送いたします。お申し込み受付から書類発送まで2週間程度のお時間を頂戴いたします。

※FAX申し込みの場合のご入金方法は「みずほ銀行への振込」に限定させていただきます。

## 3. サミット参加について

※(株)JTBコミュニケーションデザインより委託を受け、弊社が受付・集金業務を代行いたします

サミット・大交流会へ参加される方は事前申し込み・参加費のお支払いが必要となります。

■サミット参加費：お1人様あたり2,000円(資料代として)

※定員になり次第締め切りとなります。

## 4. 大交流会について

※(株)JTBコミュニケーションデザインより委託を受け、弊社が受付・集金業務を代行いたします

■開催日時：2021年9月1日(水) 18:30～20:00(予定)

■開催場所：パシフィック横浜 ノース

■大交流会参加費：お1人様あたり3,000円

※定員になり次第締め切りとなります。

※7月1日(木)の時点で開催可否を判断いたします。

## 5. 昼食について

※(株)JTBコミュニケーションデザインより委託を受け、弊社が受付・集金業務を代行いたします

■期間：2021年9月1日(水)～2021年9月2日(木)の2日間

■種類：和食(お茶付き)、洋食(内容：サンドイッチ、ジュース付き)

■料金：いずれも1,000円

・会場付近に飲食施設はございますが、移動に時間がかかることが予想されますので、昼食は事前にお申し込みをいただくか、ご持参をお勧めいたします。

・「昼食引換券」は参加証と一緒に郵送いたします。当日は「昼食引換券」をお持ちになり、指定の場所にてお引替えください。

・昼食会場は会場内にてご案内いたします。

## 6. 分科会について

※(株)JTBコミュニケーションデザインより委託を受け、弊社が受付を代行いたします

WEB申し込みの場合は、ご希望の分科会番号を選択してください。FAX申し込みの場合は、ご希望の分科会番号を第3希望まで記入してください。

定員となった分科会へのご参加はできないため、ご希望に添えない場合もございます。特にご希望の分科会がある場合は、お早めにお申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は、受付デスクで処理されるまでの時間差により、ご希望の分科会が定員になりお申し込みできない可能性がある点ご了承ください。

## 7. 宿泊プランのご案内

- 設定日：2021年8月31日(火)/9月1日(水)/2日(木) ※3泊
- 旅行期間：上記出発日から1泊2日～3泊4日
- 旅行代金(宿泊プラン代金)：朝食、サービス料及び消費税、宿泊税込みのお1名様あたりの代金です。
- ご予約は先着順にて承ります。WEBまたはFAX(専用お申し込み用紙)にて7月31日(土)までにお申し込みください。
- ご希望のホテルが満室の場合は、他のホテルをご案内させていただきます。予めご了承ください。
- 添乗員：この旅行では、添乗員は同行いたしません。
- 最少催行人員：1名様
- 宿泊プランの行程

日次	行程	食事条件
1	自宅または前泊または各地 → (交通はお客様負担) → 各宿泊施設 宿泊地：横浜市	朝× 昼× 夕×
2～4	各宿泊施設 → (交通はお客様負担) → 自宅または後泊または各地	朝○ 昼× 夕× (一部朝×)

宿泊エリア	宿泊施設名	最寄り駅	会場アクセス	客室タイプ (ご利用条件)	ご利用人数	ご旅行代金 (1泊お1名様)	申込 記号
会場周辺 (みなとみらい地区)	ヨコハマグランド インターコンチネンタルホテル (全室禁煙)	みなとみらい線 みなとみらい駅徒歩3分	会場隣接	ツインまたは ダブル	1名利用	¥27,500	1-A
					2名利用	¥15,400	1-B
	横浜ベイホテル東急	みなとみらい線 みなとみらい駅徒歩3分	徒歩5分	ツイン	1名利用	¥25,300	2-A
					2名利用	¥13,750	2-B
	横浜ロイヤルパークホテル (全室禁煙)	JR桜木町駅徒歩5分 みなとみらい線 みなとみらい駅徒歩5分	徒歩15分	シングル	1名利用	¥23,100	3-A
				ツイン	1名利用	¥25,300	3-B
	横浜東急REIホテル (全室禁煙)	みなとみらい線 新高島駅徒歩2分	徒歩15分	ツイン	1名利用	¥15,400	4-A
					2名利用	¥9,350	4-B
桜木町・馬車道・関内地区	ナビオス横浜	みなとみらい線 馬車道駅徒歩5分	徒歩15分	スタンダード シングル	1名利用	¥10,000	5-A
				デラックス シングル	1名利用	¥12,000	5-B
	ニューオータニ横浜プレミアム (全室禁煙)	JR桜木町駅徒歩3分	徒歩20分	シングル	1名利用	¥16,500	6-A
				ツイン	2名利用	¥11,000	6-B
	横浜桜木町ワシントンホテル (全室禁煙)	JR桜木町駅徒歩2分	徒歩20分	シングル	1名利用	¥9,900	7-A
				ツイン	2名利用	¥8,500	7-B
	アパホテル&リゾート <横浜ベイタワー>	みなとみらい線 馬車道駅徒歩5分	徒歩20分	シングル	1名利用	¥8,000	8-A
	ホテルエディット横浜 (全室禁煙)	みなとみらい線 馬車道駅徒歩5分	みなとみらい線 利用20分	シングル	1名利用	¥8,250 (9/2のみ) ¥11,550	9-A
	ホテルリソル横浜桜木町 (全室禁煙)	みなとみらい線 馬車道駅徒歩1分	みなとみらい線 利用20分	シングル	1名利用	¥10,000	10-A
	相鉄フレッサイン横浜桜木町	みなとみらい線 馬車道駅徒歩1分	みなとみらい線 利用20分	シングル	1名利用	¥8,370	11-A
	コンフォートホテル横浜関内 (全室禁煙) ※朝食は軽朝食サービス	みなとみらい線 馬車道駅徒歩5分	みなとみらい線 利用20分	シングル	1名利用	¥7,500	12-A
	ホテルルートイン横浜馬車道 ※朝食は軽朝食サービス	みなとみらい線 馬車道駅徒歩1分	みなとみらい線 利用20分	シングル	1名利用	¥10,000	13-A
	ホテルマイステイズ横浜関内	みなとみらい線 馬車道駅徒歩5分	みなとみらい線 利用20分	シングル	1名利用	¥11,500	14-A
ダイワロイネットホテル 横浜公園 (全室禁煙)	みなとみらい線 日本大通り駅徒歩5分	みなとみらい線 利用25分	シングル	1名利用	¥10,500	15-A	
ダイワロイネットホテル 横浜関内 (全室禁煙)	JR関内駅徒歩3分	JR線利用25分 (桜木町駅下車)	シングル	1名利用	¥9,900	16-A	

※禁煙・喫煙ルームの希望を承りますが、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

※当日チェックインの際は、各宿泊施設のフロントにてお名前をお申し出ください。

※朝食が不要の場合でも特別設定代金のため、ご返金はできません。

※個人会計及びこれに伴うサービス料金と諸税は各自ご精算願います。

## 8. 変更・取消について

WEB 申し込みの場合、お申し込み時に取得された ID とパスワードにて、サミット参加登録システムの「マイメニュー」にログインをして、画面の手順に沿って変更内容の入力をお願いいたします。FAX 申し込みの場合は変更内容を FAX 用紙に記入の上、ご送信ください。お電話による変更・取消はお受けいたしません。

※ WEB 申し込み受付締切後の変更・取消につきましては、メール・FAX にてご連絡をお願いいたします。

E-mail : jtb\_convention@jtb.com

FAX : 045-316-5701

※取消日より所定の取消料を申し受けます。(下記の表を参照)

※取消基準日はメールの受信日または FAX 受信処理日といたします。かつ受付時間内(平日 9:30 ~ 17:30)に受信したものを基準といたします。また、受付時間後に受信した分につきましては、受信日翌営業日の取消扱いになりますので、ご了承願います。

※旅行開始後の取消連絡はお電話にてご連絡願います。

※ご入金後、変更・取消にて生じた取消料を差し引いた金額に残額がある場合には、サミット終了後 30 日以内に指定口座に振込(ご返金)させていただきます。

### 【取消料】

#### ■サミット・大交流会・昼食

取消日	取消料 (お 1 人様)
2021 年 8 月 7 日(土) まで	無料
2021 年 8 月 8 日(日・祝) 以降	100%

主催者判断による大交流会の中止及び全面オンライン視聴による開催に変更する場合は、大交流会、昼食の代金は全額返金いたします。

#### ■宿泊プラン(募集型企画旅行契約) 旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除する場合

契約解除の日		取消料 (お1人様)
旅行開始日の前日から 起算してさかのぼって	1. 6 日目にあたる日以前の解除	無料
	2. 5 日目にあたる日以降の解除 (3、4を除く)	旅行代金の 20%
	3. 旅行開始日当日の解除 (4を除く)	旅行代金の 50%
	4. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加(不泊)	旅行代金の 100%

## 9. 個人情報の取り扱いについて

お送りをいただきました個人情報については、連絡の為に利用させていただく他、お申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等が提供するサービスの手配・受領の為に手続き、あるいは「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」の円滑な運営の為に必要な範囲内で利用いたします。また、情報共有のため、主催者へ情報を提出し、利用させていただきます。

## << 募集型企画旅行約款 (要約) のご案内 >>

お申し込みの際には、必ず旅行条件書 (全文) をご確認ください、事前に内容をご確認の上お申し込みください。  
旅行条件書 (全文) : <https://www.jtb.co.jp/operate/jyoken/acedom.asp>

### ●募集型企画旅行契約

この旅行は (株) JTB (東京都品川区東品川 2-3-11 観光庁長官登録旅行業第 64 号。以下「当社」という) が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約 (以下「旅行契約」という) を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書 (全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

### ●旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、下記のお申込金を添えてお申し込みください。お申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。
- (2) 電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払をしていただきます。
- (3) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。
- (4) お申込金 (おひとり) 旅行代金以内

### ●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって 10 日目にあたる日より前 (お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日までに) にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

### ●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

	旅行開始日当日の解除	取消料 (お1人様)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	1. 6 日目にあたる日以前の解除	無料
	2. 5 日目にあたる日以降の解除 (3、4を除く)	旅行代金の 20%
	3. 旅行開始日当日の解除 (4を除く)	旅行代金の 50%
	4. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加 (不泊)	旅行代金の 100%

\* 貸切船舶を利用する旅行については、上記の表によらず、コースページ内に記載する取消料に拠ります。

### ●旅行代金に含まれるもの

旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金 (注釈のないかぎりエコノミークラス)、宿泊費、食事代、及び消費税等諸税  
これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。  
(コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。)

### ●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。  
死亡補償金：1,500 万円

入院見舞金：2～20 万円

通院見舞金：1～5 万円

携行品損害補償金：お客様 1 名につき～15 万円 (但し、補償対象品 1 個あたり 10 万円を限度とします。)

### ●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員 (以下「会員」といいます。) より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと (以下「通信契約」といいます。) を条件にお申し込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。(受託旅行者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行者により異なります。)

- (1) 契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき (e-mail 等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様に到達したとき) とします。また申し込み時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。
- (2) 「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。(但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として払い戻します。)
- (3) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

### ●国内旅行保険への加入について

旅行先において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、販売店の係員にお問合せください。

### ●事故等のお申出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込店にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

### ●個人情報の取扱について

- (1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。
- (2) 当社は、旅行先でのお客様のお買い物等の便宜のため、当社の保有するお客様の個人情報を土産物店に提供することがあります。この場合、お客様の氏名及び搭乗される航空便名等に係る個人情報をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供いたします。なお、これらの個人情報の提供の停止を希望される場合は、お申込店に出発前までにお申し出ください。

### ●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は 2021 年 5 月 1 日を基準としています。又、旅行代金は 2021 年 5 月 1 日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

承認番号：21-002

## 【お問い合わせ・お申し込み先】株式会社 JTB 横浜支店 「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」受付デスク

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-29-1 第 6 安田ビル 6 階  
TEL: 045-316-4602 FAX: 045-316-5701  
E-mail: [jtb\\_convention@jtb.com](mailto:jtb_convention@jtb.com)

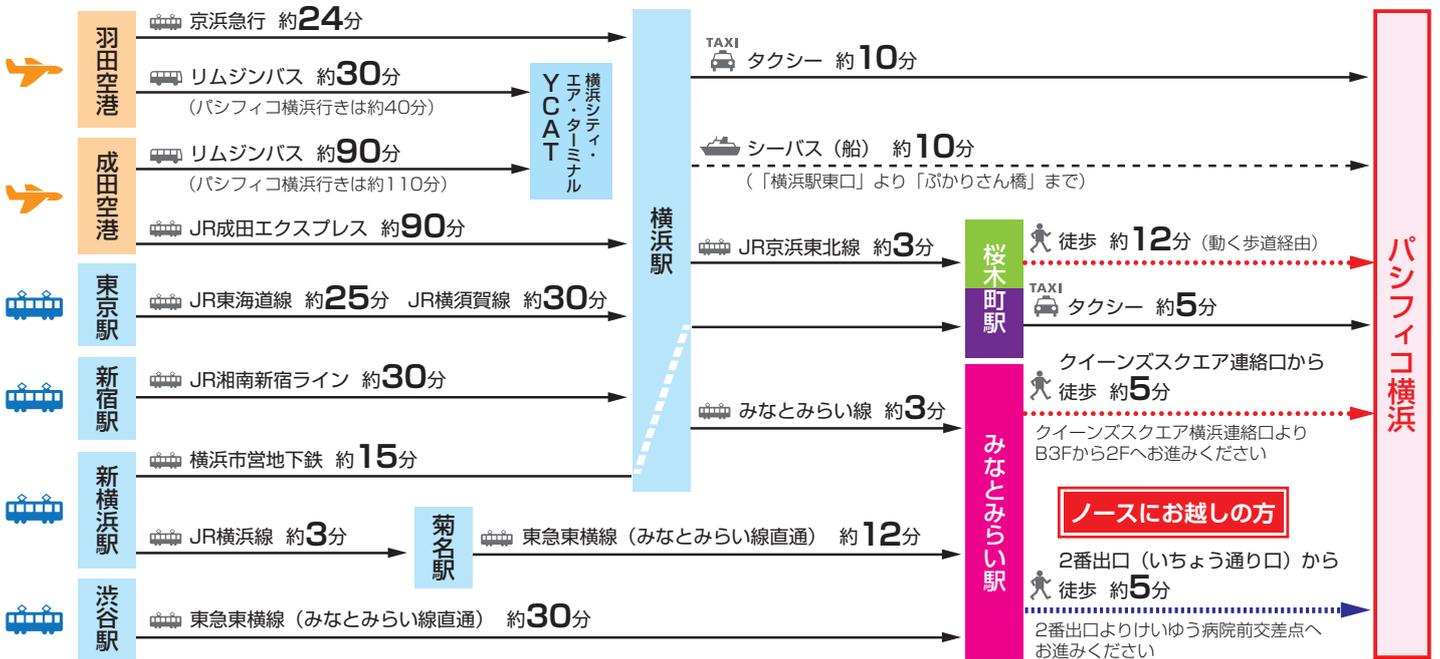
【営業時間】午前9時30分～午後5時30分 (土・日・祝日休業)  
担当：吉田・佐藤 (真)  
総合旅行業務取扱管理者：浦上 博行

総合旅行取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく左記の総合旅行業務取扱管理者にご質問ください。

# 会場のご案内

## 会場：パシフィコ横浜

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1



※参加者専用の駐車場のご用意はございません



申し込み専用WEBサイト  
WEBでのお申し込みはこちらから。  
<https://amarys-jtb.jp/summit2021/>



さわやか福祉財団ホームページからも  
申し込み可能です。  
<https://www.sawayakazaidan.or.jp/>

### お問い合わせ先

#### 公益財団法人さわやか福祉財団

〒105-0011 港区芝公園2-6-8 日本女子会館7F  
TEL: 03-5470-7751 FAX: 03-5470-7755  
E-mail: summit@sawayakazaidan.or.jp